

和風暖屋老屋光陰故事

日式老建築

台南有故事

往時の面影を残す日本統治時代の建物たちにはそれぞれに奇物語があります。

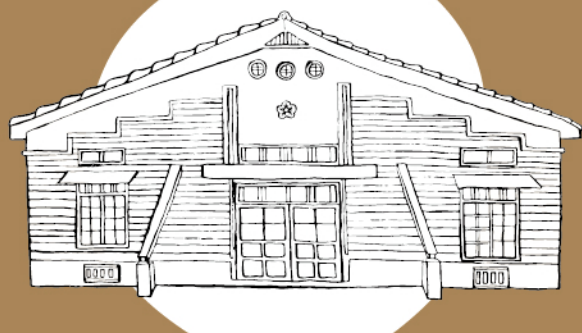
日本統治時代の面影を留める台南

ヨーロッパ、中国、日本の文化の洗礼を受けてきた台南市。300年以上にわたるその歴史は、そのまま台湾文化史に等しく、その街並みは多角的でどこか懐かしい風貌を呈しています。街を歩けば、そこかしこで古いお寺や廟、代々受け継がれてきた旧家に出会えます。歳月を刻んだ古い建物を訪れ、そこで紡がれた物語に耳を傾ける。それはまさに、台南ならではの旅の楽しみ方。日本風の建物、レンガ造りの洋館、中国風の建物、ここ台南にはその全てが揃っています。台南を訪れて、近代建築を堪能し、現代社会に溶け込む芸術を味わってみてください。



おすすめルート

- 台南文化創意産業園區 約1km / 徒歩13分 → 旧台南公会堂
- 約180m / 徒歩2分 → 鶯料理 約250m / 徒歩3分
- 旧台南州庁(台湾文学館) 約150m / 徒歩2分
- 旧日本勧業銀行台南支店 約100m / 徒歩1分 → 林デパート
- 約250m / 徒歩4分 → 旧山林事務所(葉石濤文学記念館)
- 約100m / 徒歩1分 → 武徳殿 約200m / 徒歩2分 → 爱国婦人館
- 約1.5km / 徒歩20分 → 水交社宿舍 約3km / 車で9分
- 旧台南県知事官邸 約1.5km / 徒歩15分 → 成大博物館



菁寮小学校中堂

1950年に建てられた中堂は、菁寮小学校的講堂です。日本の木造建築の工法を用いた建物で、正面の壁面には、実用と装飾を兼ね備えた3つの小さな丸窓が取り付けられています。



菁寮小学校事務室

1956年に建てられた木造の事務室は、中堂と同様、台湾の戦後初期建築を代表する建物です。入口の部分には格子はめられており、細部まで趣ある細工が施されています。



台南文化創意産業園區

台南文化創意産業園區は、古跡を活用した文化創造の基地、アートスポット、展示会場、芸術文化活動の場として、新たに誕生しました。ここは日本統治時代、台湾総督府専売局台南支局、後の台湾省菸酒公賣局台南支局(タバコとお酒の専売局)だった建物で、台南県全域にタバコとお酒を専売する業務を担っていました。赤レンガ造りの建物は、四角いシンプルな構造で、U字型に配され、切妻屋根の中央玄関は、ヨーロッパ風の装飾が施されています。レトロな香り漂う台南文化創意産業園區は、アーティストの創作意欲を掻き立てる場、市民が気軽に芸術に触れられる憩いの場となっています。

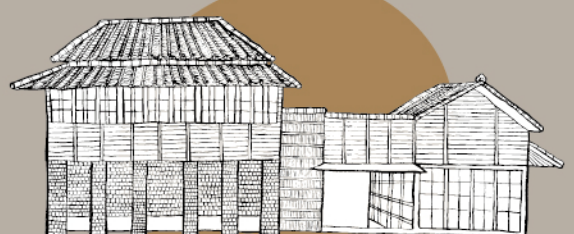
- 在来線の台南駅から徒歩1分 ▶ 台南市東区北門路二段16号 ☎ 06-222-2681 ☀ 平日11:00~21:00・休日(連休)10:00~22:00 月曜休館



旧台南公会堂

台南公会堂は1911年に建設されましたが、ここにはもともと、地元の名士であった吳高新氏が造った中国風庭園「吳園」がありました。園内には山や池が配され、閩南風の建物や東照、珊瑚石を用いて漳州(中国福建省南部の都市)の飛來峰を再現したものがあり、静かで心癒す空間でした。日本統治時代、当時の台南市は、吳園内に市民の集会所として台南公会堂を建設しました。公会堂はその後、中山堂、社教館などに転用され、修復を経て、現在に至っています。マンサード屋根、イオニア式の柱で構成された建物は、内廊にも複雑な装飾のレリーフが施されており、非常に凝った造りとなっています。緑あふれた木々と澄んだ池、そしてバロック建築の公会堂は、互いにその美しさを引き立て合い、静かで心洗われる空間を作り出しています。

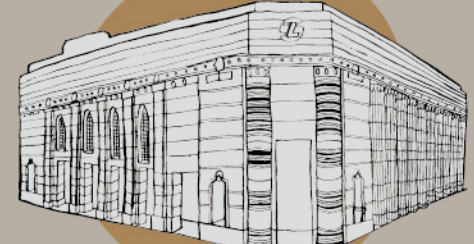
- 台南文化創意産業園區から徒歩約11分 ▶ 台南市中西区民権路二段30号 ☎ 06-228-9250 ☀ 08:00~22:00



鶯料理

1923年、昭和天皇が皇太子でいらした時に台南を行啓され、知事官邸にご宿泊された折、とくに指定されてお食事をご用意されたのが「鶯料理」です。その建物は、修復された2013年12月24日、正式に公開されました。広々とした優雅な庭園と風通しの良い伝統的な日本建築を再現するとともに、旧料亭(鶯料理)の制限、れん、包丁等の関連文物を展示しています。2015年には、台南市で初めての記念的建築物に指定され、市の文化局は同年、その空間を有効活用するために公開入札を行い、落札した運営業者(阿禮飯店グループ)は、その後の年月をかけて失われていた旧鶯料理「表裏」を新たに再建し、「鶯前食肆」として、1階は朝食や飲み物の販売、2階はギャラリースペースとして利用しています。

- 柳屋より徒歩約4分 ▶ 台南市中西区忠義路二段84巷18号 ☎ 10:00~21:00 ☎ 06-224-0595



旧日本勧業銀行台南支店

日本勧業銀行は、日本統治時代に台北と台南に支店を開設し、土地を担保にした貸付業務等を行っていました。1937年に完成した台南支店の建物は、ゴシック調のバルコニーや柱の装飾があり、ドーナツ式の柱が目を支え、柱の上部には花や大黒天の模様のレリーフが施されています。全体は石造でありながら、細部にわたって細やかな装飾が施されており、日本建築師が代表する建築家の一つとなっています。建物は戦後、台湾土地銀行に接収され、現在も土地銀行台南支店の店舗として使用されています。

- 台湾文学館より徒歩約2分 ▶ 台南市中西区中正路28号 ☎ 06-226-5211 ☀ 09:00~15:30・土曜、日曜休館



旧山林事務所(葉石濤文学記念館)

葉石濤は、戦後台湾を代表する文学評論家です。代表作の一つである『臺灣文学史綱』は、台湾で初めて台湾文学を体系的に整理したものと高く評価されています。葉石濤文学記念館の建物は、1925年に建てられた「山林事務所」です。二階建てで、壁面はレンガと洗い出しが組み合わされ、一階には格子窓、二階にはアーチ窓がはめられ、優美で趣のある設計となっています。館内では、葉石濤の生涯や代表作が紹介されているほか、直筆の原稿も展示されており、優雅な味わいある洋館内に漂う文学の香りが、訪れる人の心を豊かにしてくれます。

- 林デパートより徒歩約4分 ▶ 台南市中西区友爱街8-3号 ☎ 06-221-5065 ☀ 水曜~日曜09:00~17:00 月曜、火曜、大晦日休館



爱国婦人館

爱国婦人会は、1901年に日本で設立された婦人団体で、兵士の慰問、遺族の救済を目的とした団体でした。この爱国婦人館は、爱国婦人会台南支部として1940年に建てられた建物で、日本統治時代には前棟が本部、後棟が倉庫として使用されていました。前後の二つの棟が階下でつながっている構造で、基壇には洗い出しが用いられ、外観はレンガと木材を組み合わせたものになっており、ヨーロッパと日本の建築技法を組み合わせて建てられたようです。台南市は現在、この爱国婦人館を「文創 PLUS-台南創意中心」と名付け、新しいアイデア商品の販売、発信センターとして、また、クリエイターの交流の場として活用しています。

- 忠義國小(忠義小学校) 武徳殿から徒歩約2分 ▶ 台南市中西区府前路一段197号 ☎ 06-214-9510 ☀ 09:00~17:00 (旧暦の大晦日休館)



旧台南県知事官舎

1900年に落成した旧台南県知事官舎は、もともとはその名の通り知事官舎として使用されていましたが、後に迎賓館として使用され、1941年までに、多くの貴族の方々をお迎えしました。1923年に当時の皇太子殿下(後の昭和天皇)が台湾を訪れた際にも、こちらにお泊りになりました。広々としたバロック風の洋館は、中央と側面が八角形の回廊で、内部の装飾は大変さびやかなものでした。貴族の方々をお迎えするにふさわしい装飾を備えた建物です。

- 水交社宿舍から徒歩30分。または、小西門というバス停から紅2線のバスに乗り、東門圓環下車、徒歩約4分。 ▶ 台南市東区衛民街一号 ☎ 06-236-7000 ☀ 10:00~18:00、月曜休館

古民家と旅する時空

八田與一は台湾の水利事業の父と呼ばれる人物で、日本統治時代、他の日本人技術者とともに嘉南大圳(嘉南地域で造られた水利施設)と烏山頭ダムを建設しました。日本人技術者達のつづきの宿舎は、時空を超え、往時の物語を今に留めています。1911年に創立された菁寮小學校(日本統治時代、台湾人の子供たちが通った公立小學校)は、現在、菁寮國小(菁寮小學校)となっており、当時から使われている揚場台と太陽の光射り注ぐ古い木造校舎は、訪れる人にその歴史を感じさせます。

- 菁寮小學校 ▶ 台南市後壁区墨林里282号 ☎ 06-6621271 ☀ 黄6の大台南公車(大台南バス)に乗ると、校門前に着きます。年間を通して開放されていますが、子供たちの授業の妨げにならないよう、休日または放課後の訪問をお願いします。▶ 入場無料
- 八田與一記念園区 ☎ 06-698-2103 ☀ 木曜~火曜09:00~17:30 毎週水曜休館(水曜が祝日の場合は木曜休館) ▶ 大人200円、子供120円



八田與一郎

八田與一は、嘉南大圳(嘉南地域で造られた水利施設)と烏山頭ダムを建設した八田與一とその家族が住んだ家です。西側は洋間で、與一の書斎として使われていたようです。北側には庭があり、そこには台湾の形をした池があります。



赤堀邸

赤堀邸は、もともとは機械係長であった蔵成信一の家でしたが、後に烏山頭出張所所長赤堀信一の住居となりました。赤堀信一の長女嫁子は、後に八田與一の長男に嫁ぎました。



阿部宅

阿部貞壽は、堤堰係長を経て、後に烏山頭出張所の所長となった人物です。阿部邸は和風の造りで、貞壽の離職後はゲストハウスや寮として利用されていました。



市川邸、田中邸

機械技師の市川勝次と田中義一の住宅は、二軒長屋です。それぞれに玄関が設けられているため、プライバシーは守られていたようです。



旅客サービスセンター

- 新鶯旅客サービスセンター ☎ 06-6378821 台南市新営区中山路1号
- 台南駅旅客サービスセンター ☎ 06-2290082 台南市東区北門路二段4号
- 台南空港旅客サービスセンター ☎ 06-3359209 台南市南区機場路775号
- 高铁台南駅旅客サービスセンター ☎ 06-6008338 台南市歸仁区歸仁大道100号
- 左鎮月世界旅客サービスセンター ☎ 06-5730061 台南市左鎮区岡林里31号(前岡林分校)
- 徳元埠旅客サービスセンター ☎ 06-6231896 台南市柳営区神農里新厝100号
- 無米寮旅客サービスセンター ☎ 06-6622725 台南市後壁区菁寮里75号
- 安平旅客サービスセンター ☎ 06-2281382 台南市安平区安平路790号

台南のホテル検索サイト

2018.09 広告

バス運行状況検索